

埼玉県志木市ふれあい館「もくせい」視察について（出張報告）

日 時：令和 6 年 1 月 19 日（金）15 時～16 時半

視 察 先：埼玉県志木市ふれあい館「もくせい」

・埼玉県志木市館 1－4－1（志木市第四小学校内）

出 張 者：山中課長、石川課長補佐

対 応 者：志木市 市民活動推進課 佐野課長 梅木主幹 樋口主査
指定管理者（社福）タイケン福祉会 松浦氏

視察目的：大楠地区の公共施設再編について検討する「大楠幼稚園跡施設検討会」のメンバーである、各町内会長や小学校長等から、小学校、放課後児童対策スペース、地域住民の交流スペースが同居することに対し、新たな交流が図れることに対する期待と、不特定多数の人が出入りすることに対する不安の双方の受け止めがあり、先進事例について視察したいという希望があったため。

視察参加者

横須賀市役所職員

①事務担当課（財務部 F M 推進課）

山中課長 石川課長補佐

②その他同行

民生局福祉こども部福祉施設課 青木課長 吉崎係長 尾山主任

民生局福祉こども部子育て支援課 田中担当課長

民生局地域支援部西行政センター 松尾館長 辰沢副館長

池上コミュニティセンター・公郷老人憩いの家 小池館長

（指定管理者：一般財団法人シティサポートよこすか）

地域住民等

①町内会関係者

大楠連合町内会 新倉会長 芦名町内会 高橋会長 長坂町内会 青木会長

秋谷町内会 鈴木会長

②その他 大楠幼稚園 小菅園長

視察内容

①ふれあい館「もくせい」の外観を外から視察

②「もくせい」にテラスから入場し多世代交流の様子を視察

③「放課後子ども教室」「学童保育室」を視察

④活動スペース「未来」において、説明を受け、質疑応答

視察概要

ふれあい館「もくせい」を視察したが、高齢者中心であったが、満席で活気もあり、曜日や時間帯によっては子供達も来館し、駄菓子を食べ、おもちゃで遊び、宿題をしたりと自由に過ごせる場であり、6年生は、騒いでいる小学生を注意してくれている。実際に現場を見ることにより、多世代交流の場が、活気あり且つ安全に運営されていることが実感でき、参加者の気持も、多世代の地域住民に向けた居場所づくりを考えるきっかけになっただけではなく、我々職員にとって良い刺激になったと感じた。

質疑応答

管理について		
No.	質 問	回 答
1	「もくせい」の所管はどう決めたのか。	「もくせい」にカフェスペースを整備する前から、市民の居場所として「市民活動推進課」で所管していたため、そのまま所管課となった。
2	管理運営はどのように行っているのか。	公募型プロポーザル方式で、管理運営業務委託の受託者を募集した。業務開始は令和5年2月からで、契約期間は24か月間だが、次期契約更改の際には、委託期間を延ばすことを検討している。
3	同じ1Fでもエリアや行う事業により所管課が異なるようだが、市の関係課で打ち合わせ等を行っているか。	市民活動推進課のほか、保育部門、高齢部門などと数か月に1度会議を行っている。
4	管理運営業務委託 1,752 千円は安すぎないか。	17,520 千円の間違い。
5	補助金の申請について。	25,000 千円は埼玉県の補助金で、健康運動等講座など、住民の健康増進拠点の整備のため補助金が出ている。
6	外から「もくせい」に来るのに車等駐車場の要望はないのか。	現状、駐車場はないので要望はある。自転車置き場も狭い状況で改善は検討したいと思っている。

運営について		
No.	質 問	回 答
1	ふれあい館「もくせい」を運営していく中で、多世代間でのトラブル（子供がうるさい等）など、何か困っていることはあるのか。	順調で困りごとは聞いていない。
2	学校内にある立地を生かしたふれあいの交流はあるか。	小学生が、クラスごとに高齢者に向けて生活発表会を行っていたが、コロナになってから交流は縮小している。
3	施設の人員体制は。	ランチタイムは3～4名、その他の時間帯は2～3名で勤務している。
4	一見の人や地域以外の人（市外在住者など）でも勝手に入れるのか。	受付で名簿を書くが、誰でも入れる。受付を設けることで、ある程度の“人となり”はわかるはずであり、また、もくせいには大勢の大人の利用者がいるので、監視の役目も担っており、怪しい人は入りづらいと思われる。
5	町内会で賀詞交歓会、老人会等、年に数日集まる機会がありアルコールもでる。そういう使い方もあるのか。	活動スペースについては、ボランティア活動、事業活動など登録すれば、借りられ、茶菓子などの喫食は可能だが、学校内でもあるのでアルコールは禁止している。
6	講座等を計画するのに講師等を探すのに苦労したか。	管理運営業務の受託者が体育系の法人なので、スポーツ用品メーカーや地域の方など多方面で探している。講座の運営は管理運営業務に含まれている。
7	カフェメニューの金額は安いが、採算は取れるのか。	カフェは集客の仕掛けづくりのため、収益は考えていない。カフェスタッフは受付を兼ねており、人件費は委託料で賄っている。
8	カフェのランチ営業はどのように実現したのか。	近隣で夜間のみ営業していた飲食店に、週3回ランチタイムの調理をお願いしている。
9	学生や児童のカフェ利用はあるか。	17時閉店のため、中学生はテスト期間中に自習のための利用が見られる。学童保育や放課後子供教室利用者は、利用できない。学童保育などを利用しない児童が駄菓子を買ったりしている。
10	学生や児童が施設内で騒いだり、汚したりすることはないか。	学生はカフェの利用で大人の雰囲気味わいたいように騒ぐことはない。児童は少し騒がしくなっても、上級生（6年生など）が下級生を注意する姿を見かける。自分たちの母校であり、きちんとしなければならないとの意識を持っており、問題となる行動はない。
11	学童保育施設や放課後子供教室はどこが運営しているのか。	もくせいとは別の契約（市保育部門発注）だったが、結果的にもくせいと同じ事業者が受託している。同じ事業者であることから、施設内の運営がスムーズであると感じる。

安全面について		
No.	質 問	回 答
1	「もくせい」の安全面はどうなっているのか。	防犯カメラが施設内に2台あり監視モニターをカフェ内の来館者から見える位置に設置している。 来館者の氏名を受付で書かせている。 もくせいの入り口は1か所だけ（外も腰高くらいのフェンスで学校敷地と区切られている）としており、学校側へは2階への階段に扉が施錠されていて通常は入れない。
2	「もくせい」の開設にあたり地元から安全面等の要望はなかったのか。	やはり不特定多数の方が来るので、廊下に壁を設け、「もくせい」と「放課後子供教室・学童保育」とを施設ごと壁で隔てるといった意見も出たが、消防法上、壁の設置はできないこと、学校内という立地を生かした世代間交流の施設であることを説明し、ご理解いただいた。

事前準備について		
No.	質 問	回 答
1	リニューアルでは、どの部分を改修したのか、間取りは替えたのか。	外構入口にスロープを設置、出入口に自動ドアを設置、カフェスペースをリフォーム、テラスを設置、廊下に手すりを設置、壁紙の張替え、照明のLED化など間取りは変えず学校の教室のサイズをそのまま使っている。
2	学校の先生には、カフェの設置など、多世代の場にするということについて事前に説明をしたのか。	事前に説明し、リニューアルオープンにも現地で説明を行った。先生も利用したいと楽しみにしていた。
3	地域への説明はどうしたか。	開所までに、町内会長会議や、地域の連合町内会議で説明したり、地域住民向け内覧会を開いたり、開所式当日にコーヒー無料で提供を行うなど説明を重ね、納得いただき、開所後も特にトラブル等なく運営できている。

【志木市】ふれあい館「もくせい」

・全体像



カフェもくせい



会議様子



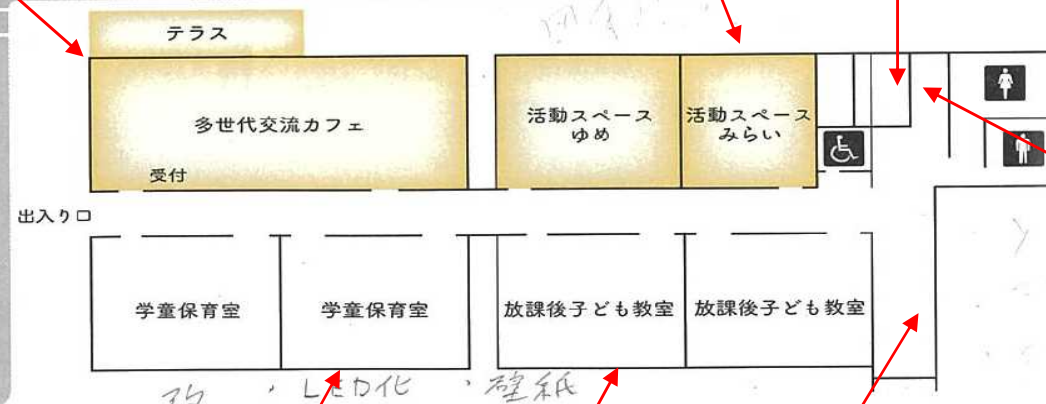
2階学校への扉



第四小学校

至市民体育館

マロニエ通り



改修
・トイレ
・スロープ
・キッチン
・壁紙
・入口

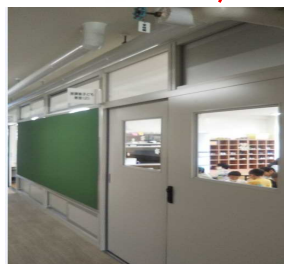
至志木第四小学校正門



2階への階段



学童保育室等の外観



放課後子ども教室



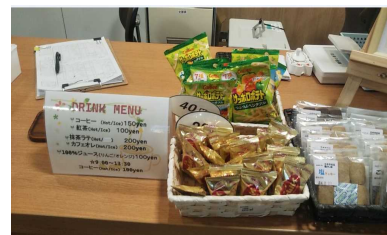
出口への廊下

【志木市】

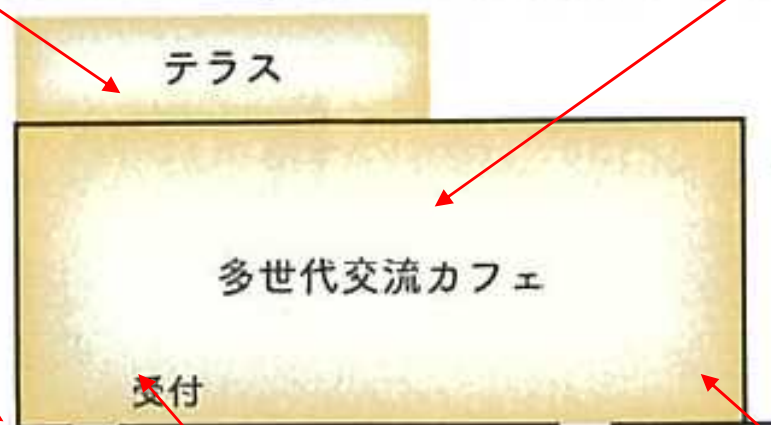
・「もくせい」カフェ



おかし・おもちゃ・新聞等



カフェメニュー・催し物案内



受けつけ

監視カメラモニター

乳幼児柵

